

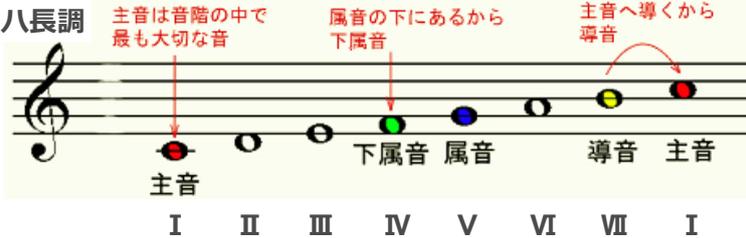
■音の構造と役割

・長調と短調は、それぞれ7つの音で構成されますが、その中で重要な音が4つあります。

- (1) **主音(Tonic)** : 最初の音がある。
- (2) **属音(Dominant)** : 主音の5度上の音。
- (3) **下属音(Subdominant)** : 主音の5度下の音(1 オクターブ上げると4度上の音となる)。
- (4) **導音(leading tone)** : 主音の半音下の音。



(例) 八長調



メロディは、どのような経路を辿ろうが最終的には主音(または属音)に収束するようにしないと曲が終わった(一区切りついた)感じがしません。それを印象づけるために必要な音が、主音、属音、下属音、導音です。

第 I 音	主音 : 音階の出発点となる最も重要な音。
第 V 音	属音 : 主音から上方に完全 5 度関係にある音で、主音を支配する音。
第 IV 音	下属音 : 主音から下方に完全 5 度関係にある音。主音と属音を補助する音。
第 VII 音	導音 : この音は主音と短 2 度関係にあり、主音に進もうとする性質の音。

●主音とは？

- ・主音とは**音階の起点**となる最も重要な音で、長調でいうドの音、短調ではラの音です。相対的な音程の関係ですので、高い音のド(ラ)や低い音のドラ)も主音になります。
- ・「調」を確定する上で重要な役割をします。

●属音とは？

- ・主音の**完全五度上**の音。属和音(和音記号V)の根音にあたるのでこの名があります。主音に次いで重要な音で、属音があって初めて主音が決まるといわれています。

●下属音とは？

- ・主音から下に向かって**5番目の音**。属音を補助(サポート)する役目をします。



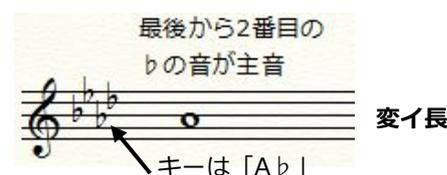
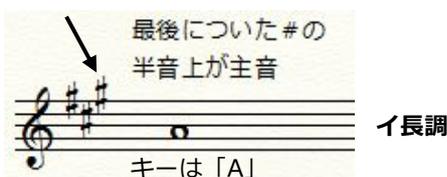
●導音とは？

- ・**主音の半音下**に位置し、主音に進もうとする力を持つ音で、主音を明確化する働きを持ちます。
- ・導音とは主音へ導く音という意味で、導音を演奏しているときは主音へいく場合が多いので、導音→主音と動く音を間違えると、曲の終わりでは曲が終わった感じになりません。

★調の見つけ方 (#はファ・ド・ソ・レ・ラ・ミの順で、bはシ・ミ・ラ・レ・ソ・ドの順につけます)

Memo

・長調の場合



・短調の場合



長調の場合の主音は「F#」

嬰二短調

長調の場合の主音は「Db」

嬰口短調

2013.3.16 by KENZOU